

## スプレー缶や石油ストーブは適正に処理を

市では、一般家庭ごみをごみ収集車（パッカー車）で収集していますが、今年度に入り「燃やせないごみの収集日」に収集車の荷箱内での火災が発生しました。火災は収集作業員などの人命に関わる一大事にもなるほか、車両の修理に高額な費用が必要となり、ごみ収集計画にも支障を来す恐れがあります。

火災の主な原因は、ガスライター、スプレー缶、カセットボンベなどに使用されていた可燃性ガスや石油ストーブなどの燃料である灯油に引火したことに由来しますが、これらは次のように適正に処理した上で、分別し出してください。安全に再資源化することができます。安全で低コストのごみ収集にご協力ください。

### ▽使い捨てガスライター

中身を完全に使い切り、不燃ごみとして収集日に出す。

### ▽スプレー缶、カセットボンベ

中身を完全に使い切り、火気がなく、風通しの良い屋外で缶に必ず穴を開け、資源ごみ（カン類）として収集日に出す。

### ▽石油ストーブ、ファンヒーター

灯油や、乾電池を抜き取り、本体と乾電池は不燃ごみ（袋に入らないものは粗大ごみ）として収集日に出す。

■照会先 生活環境課（☎23-673

3）、清掃事務所（☎22-0314）



▲消火作業する消防署員



▲激しく燃えるパッカー車



▲消火作業する清掃作業員



雨の日も風の日も いったか子ども見守り標語

あつたか子ども見守り標語

見守り  
新鮮情報

## 高齢者も被害！ 出会い系サイトの「お金をあげる」はウソ!?

**事例1** 高齢の父が、パソコンの出会い系サイトで「7500万円の遺産を渡したい」と言ってきた相手信じ、メールをやり取りしているうちに、サイトの利用料金が50万円を超えた。相手と会う約束を10回以上しているが一度も会わずにいる。やめるよう説得しても聞き入れない。人が変わってしまったようだ。（当事者：70歳代 男性）

**事例2** パソコンに不審なメールが届いても全て無視していたが、ある時、「1200万円あげる」というメールが目にとまった。信じ込んでやり取りしているうちに、そのためのポイント代として200万円も支払ってしまった。詐欺ではないか。（80歳代 男性）

### ひとこと助言 信じちゃだめ!

- 「お金をあげたい」などといったメールから有料の出会い系サイトなどに誘導され、相手の巧妙な言葉を信じてやり取りするうちに高額な利用料を支払ってしまったという相談が、高齢者からも寄せられています。
- このようなサイトでは、通常のメールとは異なり、ポイントを購入し、そのポイントを使っ

てサイト内でメールを行うしくみになっていることがほとんどです。相手は、お金を渡すためなどさまざまな口実でメールを続けるよう促すので、気づいたときには多額の費用をつぎ込んでしまいがちです。

- メール相手が出会い系サイトの「サクラ」であることも考えられますが、証明するのは難しく、お金を取り戻すことは困難です。うまい話には注意し、ネット上の見知らぬ相手を簡単に信用しないことが大切です。

(独)国民生活センター 見守り新鮮情報より

相談先 関市消費生活相談室（商工課内） ☎23-6752